

平成 23 年度

事業報告書

平成 24 年 5 月

公益財団法人浜松国際交流協会

目次

事業実施の背景と取り組み	3
事業報告	
公益事業 1	
1. 国際理解教育推進事業	5
①地球人教育出前講座（市委託：浜松市多文化共生センター事業）	
②国際理解教育講座（自主事業）	
③はままつグローバルフェア（自主事業）	
④多文化体験講座（市委託：浜松市外国人学習支援センター事業）	
2. 外国語講座事業	10
①各国語講座（自主事業）	
②ことばのサロン（自主事業）	
③外国人支援者のためのポルトガル語講座（市委託：浜松市外国人学習支援センター事業）	
3. 交流イベント事業（自主事業）	12
①まるかじりインドネシア	
②ワールドゆかたおしゃれコンテスト	
③フェアトレードフェスタ	
④ふじのくに親善大使セミナー	
⑤親子でまち歩き	
⑥ブラジルの魅力	
⑦ポルトガル語スピーチコンテスト	
⑧ブラジルポピュラーミュージックへの旅	
⑨チャンスの国ブラジルの現在	
⑩異文化わくわく！国際交流バスツアー	
4. ボランティア活動支援事業（自主事業）	15
①HICE ボランティアバンクの運営	
②災害ボランティア研修会「やさしい日本語」を話そう	
③ボランティア研修会「小学校英語教育ボランティア養成セミナー」	
④外国人住民を交えた地域防災力の向上について考えるワークショップ	
⑤ホームステイ・コーディネーター	
5. 国際交流活動支援事業	17
①国際交流・多文化共生推進事業費補助金の交付	

- ②地域日本語推進事業（市委託：浜松市外国人学習支援センター事業）
- ③天竜地域事業（市委託：浜松市外国人学習支援センター事業、自主事業）

6. 情報提供事業	19
①機関紙 HICE NEWS の発行（自主事業）	
②CIR NEWS の配信（自主事業）	
③ホームページの運営（自主事業）	
④情報カウンターの設置（市委託：浜松市多文化共生センター事業）	

公益事業 2

1. 日本語教育事業	20
①外国人市民を対象とした日本語教室（市委託：外国人学習支援センター事業）	
②外国人市民に日本語を教えるボランティア養成講座（市委託：外国人学習支援センター事業）	
③企業コーディネート（自主事業）	
④PDCA 型日本語教室づくりのための日本語ボランティア研修（文化庁委託事業）	
⑤地域日本語教育コーディネーター研修（自主事業）	
2. 相談事業	26
①外国人市民のための生活相談（市委託：浜松市多文化共生センター事業）	
②ワンストップ相談コーナーの運営	
③中国残留邦人支援事業（市委託事業）	
④法律相談（自主事業）	
⑤税務相談（自主事業）	
⑥メンタルヘルス相談（市委託事業）	
⑦ソーシャルワーク研修（市委託：浜松市多文化共生センター事業）	
⑧コミュニティ・エンパワメント（市委託：浜松市多文化共生センター事業）	
⑨自主グループ支援（市委託：浜松市多文化共生センター事業）	
3. 子ども支援事業（自主事業）	32
①かえるプロジェクト	
②就学前外国籍児童学校体験教室	
4. 地域共生推進事業（市委託：浜松市多文化共生センター事業）	33
①各地域への個別支援	
②モデル地区・遠州浜への支援	
③地域共生自治会会議	

事業実施の背景と取り組み

平成 23 年度（2011 年度）は、日本のみならず世界を震撼させた 3 月 11 日の東日本大震災による影響で、日本全体の社会経済が不安定な中で幕を開けた。特に、福島第一原発の爆発による放射能汚染への不安から、正確な情報提供が各国語で求められ、当協会においても特別に情報コーナーを設置した。また、帰国準備をする外国人住民から手続き上の問い合わせが増加するほか、東北地方からの部品の供給が停止したことに伴い、浜松市内の多くの製造業のラインも一時的に止まり、現場で働く外国人による休業補償の問い合わせなどもふえた。平成 20 年（2008 年）のリーマンショックから続く景気の低迷から脱却の兆しが見えかけた矢先の震災は、不安定な雇用形態で働くことの多い外国人住民に再び大きな影響を与えたと言えよう。

このような不安定な社会経済状況の中、日本全体及び浜松市の外国人登録者数は 3 年連続で減少したが、在留資格別の内訳を見ると、永住者の数はむしろ着実に増加しており、浜松市においても永住者は外国人登録者数の半数以上を占め、日本にとどまる覚悟を決めた外国人が多くなっている。

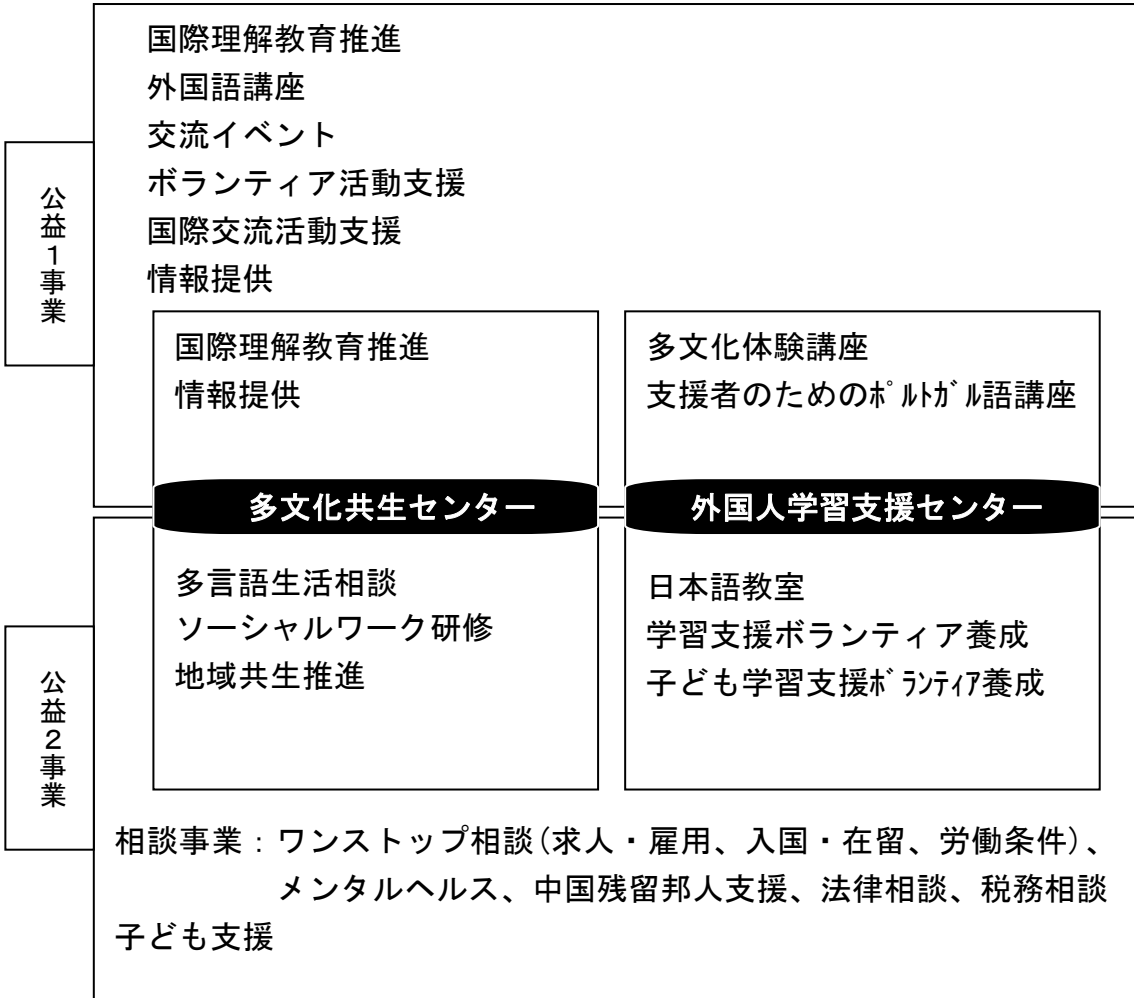
このような状況を背景に、当協会では防災をテーマとする事業を、ソーシャルワーク研修の中やボランティア研修会、自主グループ支援において複数回行った。今後は、より体系的に外国人住民を巻き込んだ防災対策について取り組んでいくことが望まれる。

また、平成 23 年度（2011 年度）は、年度当初から公益財団法人として出発する初めての年度であり、公益性を活かした当協会ならではの事業展開が一層求められた。浜松市多文化共生センター事業におけるソーシャルワーク研修及び浜松市外国人学習支援センター事業における日本語教育事業に関しては質、量ともに充実したものとなった。特に浜松市外国人学習支援センターは平成 22 年 1 月に開館してから 3 年目を迎え、来館者数が 2 万人を突破するなど、他地域に見ない多文化共生の一つの拠点として存在意義を増している。

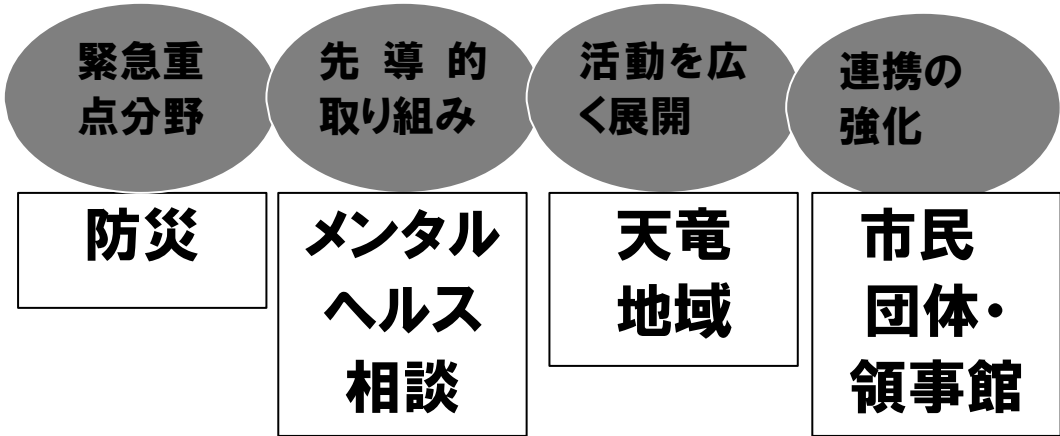
多文化共生分野における先導的な取り組みとしては、浜松市委託事業であるポルトガル語によるメンタルヘルス相談の専門家を 2 人に増員し、精神科や発達障害に関する受診や相談に際し、専門家の通訳派遣を行った。その結果、発達相談に関する相談が増加していること、またポルトガル語以外の言語のニーズも相当数あることがわかってきている。今後は、そのニーズにどのように応えていくべきか具体的な検討が必要になってくる。

さらに、活動の広がりにも力を入れた。地域的な広がりとしては、旧天竜国際交流協会の事業を引き継ぎ、天竜地域においても事業を展開することにより活動範囲が広がった。また、内容的な広がりとしては、交流イベント等の一般向けの事業を市民団体や各国領事館、関係団体と連携することにより、より多くの魅力的な事業を展開することができた。特に、在浜松ブラジル総領事館との連携による事業を充実することができた。

公益財団法人浜松国際交流協会



多文化共生社会の推進



事業総参加者数 49,699 人

事業報告

公益事業 1 (国際理解・交流事業)

1. 国際理解教育推進事業 参加者数：延べ 6,259 人

①地球人教育出前講座（市委託；浜松市多文化共生センター事業）（2,007 人）

国際協力機構（JICA）と連携し、外国人講師や国際理解教育の専門家の講師派遣等を通じて、市内小中学校や公民館等における国際理解を推進した。

■学校への派遣

学校名	派遣人数	対象
クラーク高校	1 人	高校生 20 人
浜名小学校	1 人	教員 32 人
江南中学校	1 人	中学生 20 人
東京外国語大学	1 人	大学生 80 人
湖西高校	4 人	高校生 183 人
芳川小学校	1 人	小学生 35 人
KTC 高等学院	1 人	高校生 30 人
7 校	延べ 10 人	延べ 400 人

■公民館等への派遣

派遣先名	人数	対象
伊佐見公民館	1 人	小学生 25 人
職業訓練校	延べ 9 人	受講生延べ 140 人
看護学校	延べ 14 人	看護学生延べ 1,280 人
新津公民館	1 人	小学生 30 人
企業研修	延べ 4 人	従業員延べ 32 人
5 カ所	延べ 29 人	延べ 1,507 人

■学校等からの訪問

学校名	期間	人数
静岡文化芸術大学	1 日	8 人
静岡文化芸術大学	1 日	2 人
清竜中学校	2 日	1 人
KTC 高等学院	1 日	4 人

法政大学	1日	9人
千葉県袖ヶ浦市太陽の会	1日	13人
浜松学院中	1日	2人
静岡県海外技術研修員	1日	1人
新津中学校	2日	2人
県西部特別支援学校	1日	15人
東京外国語大学	1日	4人
11団体	延べ13日	延べ61人

②国際理解教育講座（自主事業）（112人）

■アース（明日）カレッジ2011 はままつプログラム

『移民』の歴史から『多文化共生』の社会づくりへ

～移民かるた・ひょうたん島などの教材を使いこなそう～

日時 7月24日（日）10:00～16:00

会場 浜松市多文化共生センター

内容 日系ブラジル人・ペルー人の児童生徒が多い浜松市の特性を活かし、教員が「移民」や「多文化共生」をテーマとした授業並びに外国人児童生徒が自分のルーツを知り、将来を見据えて生きるためのきっかけとなるような授業を実践できるよう、その手法を学んだ。さらに、移民資料館から寄贈された「移民かるた」「移民紙芝居」、HICE 図書に所蔵されている「ひょうたん島」などの教材の存在を周知し、今後の活用を促した。

講師 中山京子（帝京大学文学部 准教授）

藤原孝章（同志社女子大学現代社会学部 教授）

対象 教員、ボランティア活動者など

参加者 24人

共催 はままつ国際理解教育ネット、JICA 中部

■国際理解教育ファシリテーター養成リレー講座 ～学びの実感から実践へ～

内容 在住外国人も多く、国際的な活動を展開する企業も多い浜松市において、真に国際理解の進んだグローバルな地域にしていくためには、人類共通の課題である多文化共生・貧困・異文化理解・環境などを自分の課題としてとらえ、解決に向けて行動を起こす人材を育てることが必須である。そのために、参加型学習という方法で実践できる人材を育てるための国際理解教育ファシリテーター養成講座を開催した。この講座受講生が、3月4日に行われたグローバルフェア内で国際理解教育ファシリテーターとして活躍した。

会場 浜松市多文化共生センター

対象 教員、ボランティア活動者など

参加者 延べ 88 人

共 催 はままつ国際理解教育ネット、JICA 中部

10月22日(土) 13:00~17:00	「多文化共生・参加型学習とは」 ・自分自身の価値観を振り返り、他者の多様性と価値観の違いを実感 ・多様性受容力を身につけよう ・「国際理解教育」と「参加型学習」	31人
11月5日(土) 13:00~17:00	「貧困・異文化理解」 ・「貧しさ」と「豊かさ」 ・力のはく奪とエンパワメント ・多様なもの・こと・ひとと肯定的に出会う	21人
11月19日(土) 13:00~17:00	「環境」 ・持続可能な社会をめざして ・自然環境と私たち	17人
12月3日(土) 13:00~17:00	「ワークショップづくりと実践」 ・現場ですぐに使えるワークショップ ・プログラムづくりの虎の巻	19人

③はままつグローバルフェア「未来を生きる子どもたち博」(自主事業)(3,000人)

(浜松市制100周年記念事業100夢プロジェクト)

目 的 ①広く市民(特に次世代を担う子ども)に呼び掛け、国際交流に参加する初めの一歩とする。また、多文化共生や国際協力について考えてもらうきっかけとする。

②市民協働により企画運営することで、市民の主体的な動きを促す。

③国際理解教育ファシリテーター養成講座の成果を発表する機会とする。

日 時 3月4日(日)10:00~17:00

会 場 クリエイト浜松

参加者 一般市民 約3,000人

主 催 公益財団法人浜松国際交流協会、はままつ国際理解教育ネット、JICA 中部
財団法人浜松市文化振興財団(クリエート浜松)

内 容

企画名	参加者数	内容
国際理解教育 ワークショップ (58人)	中学生以上13人	①日常生活から幸せを探そう
	中学生以上9人	②コミュニケーション「声に出して伝えたい!私ってこんな人」
	中学生以上10人	③笑顔と希望の国バングラデシュ

	小学生～一般 26人	④すぐろくをとおして世界のつながりを身近に感じてみよう
マイクロ ファイナンス入門	52人	講師：慎泰俊（NPO 法人 Living in Peace 代表） 内容：日本初のマイクロファイナンスファンドとしてカンボジア貧困削減のために活動をしている様子を紹介。
ワクワクドキドキ 体験教室	子ども、親子 277人	①フェアトレードビーズでストラップをつくろう ②環境に優しい粘土キャンドルで動物人形づくり ③紫外線で色が変わるアニマルペットをつくろう
絵画コンクール 作文コンクール	絵画 (小学校5,6年生) 作文(中・高校生) *外国人学校含む	絵画：応募者：78人/入賞者10人 作文(日本語)：応募者57人/入賞者10人 (ポルトガル語)：応募者37人/入賞者3人 (スペイン語)：応募者18人/入賞者3人
世界と浜松～テレ ビ電話で交流しよ う～		浜松市出身でブラジルに派遣されている JICA のシニアボランティア鶴田俊美さんとコロンビアに派遣されている協力隊山田卓也さんとスカイプで中継をし、会場と現地を繋いだ。質問コーナーやミニライブが行われ、ブラジルやコロンビアからの生の映像と音声で世界の「今」を伝えることができた。
世界の料理		インドネシア料理・ペルー料理・ブラジル料理・トルコ料理・モロッコ&タイ料理
フェアトレード ショップ		<出店> スパイスカフェ Bi ja (アジア雑貨・食品) オリーブの木 (パレスチナ直輸入雑貨) ちゃんぷるインドネシア (インドネシア雑貨) きりんの夢 (アフリカ雑貨) Poco (アジア雑貨・食品) NPO 法人ラオスのこども (ラオスの雑貨)
国際交流 展示コーナー		<展示団体> (財) 静岡県国際交流協会・(公財) 浜松国際交流協会・浜松市多文化共生センター・浜松市外国人学習支援センター・磐田国際交流協会・湖西国際交流協会・(財) 豊橋市国際交流協会・JICA 中部・アースデイはままつ
ピースアート ポスター展		世界の100人のアーティストから平和のメッセージを込めたアートポスターを壁面に展示。会場に大きなインパクトを与えた。
鈴木重子 トーク &ミニライブ 「Sing Peace ～平 和を歌う～ウガン	約450人	平和の歌を集めるプロジェクト“Breath for Peace”において、アフリカのウガンダ共和国を旅をした浜松市出身ミュージシャン鈴木重子のお話しと歌。

ダ紛争の現場から」		
ワールドステージ	約 450 人	①ブラジル管弦楽団カメラータ（クラシック&ジャズ演奏） ②ペルー伝統舞踊団（ダンス） ③Affrican Link Project（西アフリカ太鼓ジャンベ演奏） ④浜名太鼓（和太鼓演奏）
多文化子どもミュージカル「We are the future」 *浜松中ロータリー25周年記念事業	約 450 人	浜松市在住5カ国（ブラジル・ペルー・ベトナム・フィリピン・日本）の子どもたちによる、多文化共生賛歌のミュージカル。浜松中ロータリークラブ25周年記念事業として実施。オリジナルの歌と曲、オムニバス形式の創作ミュージカルで感動的な舞台となった。

④多文化体験講座（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業）（1,140人）

■日本文化シリーズ（407人）

外国人市民が日本の文化を体験することにより日本の文化や習慣に対する理解を深める機会とした。

4月25日～3月12日 月曜日 13:30～15:00 全20回	そば打ち体験、日本舞踊体験、ふろしき包み、ゆかた着付け体験、ガラス瓶をリサイクルして風鈴作り、苔玉作り、扇子の絵付け体験、江戸時代に戻ろう、バラの折り紙、ちりめん押し絵を作ろう、餅つき、お正月に向けて「年賀状作り」、100年前の日本を知ろう、和紙の人形を作ろう、よさこい踊ってみよう、木目込み人形、ミニ雛作り、絵はがき、合気道	延べ 211人
5月19日～3月22日 木曜日 10:30～12:00 全20回	日本庭園を作ってみよう、日本舞踊体験、日本の絵本、絵手紙、ゆかた着付け体験、畳屋見学、消しゴムはんこで残暑見舞い作り、重要文化財中村家住宅の見学、エコはがき、小さな庭を作ろう、巻きずし体験、書道、ばら寿司、お正月に向けて「正月料理」、着物着付け体験、子供のお弁当を作ろう、日本舞踊、折り紙、消しゴムはんこを作ろう！	延べ 196人

■海外文化シリーズ（733人）

日本人市民が外国の文化を体験することにより、異なる文化や習慣に対する理解を深めた。

5月17日～3月6日	ブラジル流誕生日祝い・ケーキ作り、ブラジル流誕生日祝い・ビスクイ作り、ブラジル流誕生日祝い（小物作り・	延べ
------------	---	----

火曜日 10:00～11:30 全 20 回	ブリガデイロ・デコレーション)、フィリピン～7,107の島からなる国～、ALTに聞く！海外日常生活文化、アジアの日常生活文化（インドネシア・中国）、インドネシアのバティック布で小物作り、消しゴムはんこでカード作り・ブラジル、フィリピン・手作り雑巾、中国・太極拳、イギリス・糸紡ぎ、世界の食文化体験（ベトナム・ベルギー・韓国・ロシア・ハンガリー）	368 人
5月13日～3月16日 金曜日 13:30～15:00 全 20 回	世界のお茶紀行（韓国・台湾・インド・中国・バングラデシュ）、世界遺産の国・ペルーの魅力、ALTに聞く！海外の日常生活文化、アジアの日常生活文化（ネパール・スリランカ）、サルサ体験、フィリピン・キャンドルダンス、韓国・扇の舞、ハワイ・フラ、ブラジル・カポエイラ、世界の食文化体験（中国・ペルー・ブラジル・イギリス・インド）	延べ 365 人

2. 外国語講座事業 参加者数：延べ 1,779 人

①各国語講座（自主事業）（206 人）

■国際交流のための中国語講座（全 8 回）

講師	趙驕陽		
日程	火曜日 19:00～20:30		
第 1 期	5月10日～6月28日	受講者	4 人
第 2 期	10月4日～11月22日		7 人
第 3 期	1月17日～3月6日		合計 19 人 8 人

■国際交流のためのインドネシア語講座（全 8 回）

講師	ディマス・プラディ、サフリダ、アストリット		
日程	水曜日 19:00～20:30		
第 1 期	5月11日～6月29日	受講者	10 人
第 2 期	10月5日～11月30日		9 人
第 3 期	1月18日～3月7日		合計 29 人 10 人

■国際交流のための英語講座（全 8 回）

講師	キャロル・チェン、パトリック・アハーン、ペーター・ジョンソン、クリス		
日程	火曜日 10:00～11:30、木曜日 19:00～20:30		

第1期	6月7日～7月26日	受講者 合計79人	13人
	5月12日～6月30日		16人
第2期	10月25日～12月13日		12人
	10月27日～12月22日		12人
第3期	1月17日～3月6日		11人
	1月19日～3月8日		15人

■国際交流のための韓国語講座（全8回）

講師	松浦礼子、張 恵元		
日程	金曜日 10:00～11:30		
第1期	5月13日～7月1日	受講者 合計18人	8人
第2期	10月7日～11月25日		6人
第3期	1月20日～3月9日		4人

■国際交流のためのスペイン語講座（全8回）

講師	遠藤明美		
日程	金曜日 19:00～20:30		
第1期	5月13日～7月1日	受講者 合計31人	14人
第2期	10月7日～11月25日		11人
第3期	1月20日～3月9日		6人

■国際交流のためのポルトガル語講座（全8回）

講師	鈴木益子		
日程	金曜日 19:00～20:30		
第1期	5月14日～7月2日	受講者 合計25人	9人
第2期	10月8日～11月26日		7人
第3期	1月21日～3月17日		9人

■旅で使えるベトナム語講座（全4回）

講師	チャン・クアン・ズン		
日程	月曜日 19:00～20:30		
第1期	3月5日～3月26日	受講者 合計5人	5人

②ことばのサロン（自主事業）（470人）

■各国語サロン

講座名	中国語サロン	スペイン語サロン	Let' s E-会話
開催日	月 1 回 土曜日 10:00 ~11:30	月 1 回 日曜日 14:00~15:30	月 1 回 日曜日 14 : 00~16 : 00
回数	10 回	10 回	12 回
参加者	延べ 87 人	延べ 102 人	延べ 134 人

■英語で学ぶ国際社交術

講師	Wayne Dove (Management Executive)		
テーマ	ビジネスの社交場面におけるネットワーキングの作り方／ビジネス社交マナー／エネルギー・マネジメント／ものごとをやりとげるには／影響力のある人を味方につけるには／組織運営・チームワーク／リーダーシップの基礎／プレゼンテーションスキル		
日程	月 1 回日曜日 10 : 00~12 : 00		
回数	6 月~3 月 9 回	参加者	延べ 147 人

③外国人支援者のためのポルトガル語講座 (1,103 人)

(市委託；浜松市外国人学習支援センター事業)

協力団体 Semente para o Futuro (将来のためのたね)

基礎～初級レベルのポルトガル語会話とブラジル文化を学ぶ

	日程	参加者
1 期	5 月 10 日~7 月 19 日 火曜コース 19:00~20:30	154 人
	5 月 12 日~7 月 21 日 木曜コース 19:00~20:30	112 人
2 期	8 月 30 日~11 月 15 日 火曜コース 19:00~20:30	265 人
	9 月 1 日~11 月 24 日 木曜コース 19:00~20:30	200 人
3 期	12 月 27 日~3 月 13 日 火曜コース 19:00~20:30	186 人
	1 月 5 日~3 月 15 日 木曜コース 19:00~20:30	186 人

3. 交流イベント事業 (自主事業) 参加者数：延べ 911 人

①まるかじりインドネシア

日 時 月 1 回土曜日 (7、12、3 月はなし) *10 月はインドネシア祭りとして拡大版

13:30~15:30 全 9 回実施

場 所 浜松市多文化共生センター

内 容 スマトラ島体験、ジャワ島体験、スラウェシ島紹介、カリマンタン島紹介、エコ楽器を作って歌おう、手作りキャンドル、粘土でトロピカルフルーツ作り、バティック技法を

体験

参加者 延べ 216 人

共 催 ちゃんぷるインドネシア

②ワールドゆかたおしゃれコンテスト

日 時 8月6日(土)

内 容 「YUKATA フェスタはままつ」で開催される「おしゃれゆかたコンテスト」への外国人参加者の募集、着付け等を行った。

参加者 25人

ボランティア：運営4人、着付け4人、通訳4人

③フェアトレードフェスタ

日 時 5月1日(日) 13:00~17:00

場 所 クリエイト浜松

内 容 フェアトレード入門講座、フェアトレードコーヒー味わい講座、フェアトレードビーズでアクセサリ作り体験、フェアトレードショッピング・カフェ体験

参加者 約100人

共 催 フェアトレードフェスタ実行委員会

④ふじのくに留学生親善大使セミナー（65人）

静岡県国際交流協会がコーディネートしている県内留学生による「ふじの国親善大使」事業を活用し、浜松在住の留学生が講師として各国の文化社会を紹介した。

会 場 浜松市多文化共生センター

共 催 (財)静岡県国際交流協会

	中国	スリランカ	ベトナム
日時	10月16日(日) 13:30~15:30	10月23日(日) 13:30~15:30	11月13日(日) 13:30~15:30
テーマ	知っているようで知らない中国	4月にお正月！？スリランカ独特の文化	行ってみたいベトナム
内容	中国の各地区独特の文化習慣を紹介	スリランカの正月の特別な料理を食べたり、お祝いの様子を紹介	ベトナムコーヒーのいれかた、旅行で使える一口ベトナム語会話、観光地の紹介
参加者	12人	14人	39人

⑤親子でまち歩き

浜松のまちなかにある国際スポットを親子で見学。

日 時 8月24日(水) 15:00~17:00

内 容 ポルトガル語とネパール語での挨拶の練習。

在浜松ブラジル総領事館、ブラジル銀行、アジアン・レストラン・ガルーダを訪問。

参加者 23人

⑥ブラジルの魅力

日 時 8月21日(日) 14:00~16:00

場 所 浜松市多文化共生センター

内 容 ブラジルの観光地の紹介とブラジル音楽のミニライブ。

講 師 エデゥアルド・フェルナンデス 在浜松ブラジル総領事館副総領事

大垣薫 (株)ツニブラトラベル 取締役

出演者 ロベルト・マスカレーニャス 在浜松ブラジル総領事館副領事

参加者 54人

共 催 (株) ツニブラトラベル

後 援 在浜松ブラジル総領事館

⑦ポルトガル語スピーチコンテスト

日 時 10月2日(日) 14:00~17:00

場 所 浜松市多文化共生センター

内 容 3分以内の自作スピーチ

出場者 23人

参加者 45人

共 催 在浜松ブラジル総領事館

協 賛 ブラジル銀行浜松支店

⑧ブラジルポピュラーミュージックへの旅

日 時 12月2日(金) 18:00~19:40

場 所 クリエート浜松

内 容 25人のブラジル人ミュージシャンによるブラジル音楽の紹介。

参加者 278人

共 催 在浜松ブラジル総領事館

協 賛 ブラジル銀行浜松支店

⑨チャンスの国ブラジルの^{いま}現在

日 時 1月29日(日) 10:00~11:30

場 所 クリエート浜松

内 容 ブラジルの経済社会の現状と展望、ビジネスチャンスなどについて。

参加者 48 人

共 催 ブラジル銀行浜松支店

後 援 在浜松ブラジル総領事館

⑩異文化わくわく！国際交流バスツアー

日 時 12月11日(日) 7:00～21:00

行き先 東京

内 容 ブラジルレストラン「カリオカ」にてルイ・ラモスからサインをもらい、記念写真
東京スカイツリーを見ながら遊覧船
浅草散策

参加者 34人(ブラジル、日本、ペルー、インドネシア、ネパール、アメリカ)

4. ボランティア活動支援事業(自主事業) 参加者数：延べ 948 人

①HICE ボランティアバンクの運営

通訳・翻訳、日本語教育、ホームステイ、イベント、言語文化紹介、地球人教育に関する市民ボランティアの活動を推進した。

＜ボランティアバンク登録人数＞ 7区分 (3月31日現在)

地球人教育ボランティア	30人
専門知識提供ボランティア	125人
通訳・翻訳ボランティア	185人
日本語教師ボランティア	184人
ホームステイ・ボランティア	116人
情報提供ボランティア	78人
事業ボランティア	138人

合計： 延べ 856 人

②災害ボランティア研修会「やさしい日本語」を話そう

静岡県国際交流協会との共催で、災害時のボランティアを想定して「やさしい日本語」について学ぶ研修を行った。

日 時 11月27日(日) 13:00～16:00

場 所 浜松市多文化共生センター

講 師 杉本篤子(にほんご空間 京都 代表)

時 光 (全国市町村国際文化研修所 JIAM 多文化共生コーディネーター)

参加者 24人

共 催 (財) 静岡県国際交流協会

③ボランティア研修会「小学校英語教育ボランティア養成セミナー」

実際の小学校で英語教育を行っているALTの講師により、英語ノートを使った教え方について、実践を交えた講義を実施。講師がフィリピン出身であり、英語母語者でなくても英語を得意とする人が活躍できる良い例として刺激になった。

日 時 2月18日、25日、3月10日、24日 土曜日 13:30～13:30 全4回

場 所 浜松市多文化共生センター

内 容 ①小学校で英語を教える際の考え方 ②手法や歌
③実際のプログラムの組み立て方と実践 ④実践プラン

講 師 加藤ロールデス

受講者 22人

④外国人住民を交えた地域防災力の向上について考えるワークショップ

～東日本大震災と新潟県中越地震での取り組みを教訓に～

日 時 2月19日(日) 13:30～16:30

場 所 浜松市多文化共生センター

内 容 第1部 基調講演

「災害時の取り組みについて」

長岡市国際交流センター「地球広場」センター長 羽賀友信

「地域防災力の向上につながる平常時の取り組みについて」

特定非営利活動法人多文化共生リソースセンター東海 代表 土井佳彦

第2部 ワークショップ

外国人住民への情報伝達について考える

共 催 近畿大学経済学部片岡研究室

参加者 30人

⑤ホームステイ・コーディネート

静岡大学留学生の日本の家庭へのホームステイをコーディネートした。

依頼者 静岡大学国際交流センター

期 間 平成23年11月

参加者 留学生 9人 ホスト 7家庭

5. 国際交流活動支援事業 参加者数：延べ 13,870 人

①国際交流・多文化共生事業推進事業費補助金の交付

浜松市内で活動する国際交流関係団体を支援するため、国際交流・多文化共生推進事業費補助金を交付した。

国際交流・多文化共生推進事業補助金交付額 4,840,000 円 (単位:円)

	対象事業	主催団体	交付額
1	外国人の子どもたちの学習支援	外国人子どもサポーターズクラブ	300,000
2	外国人学校の児童・生徒を対象としたヘルスケアプロジェクト	浜松外国人医療援助会	300,000
3	エマージェンシー・ファースト・レスポンス人材育成事業	浜松外国人医療援助会	300,000
4	フィリピン人児童を対象とした教育支援と国際交流活動	フィリピン・ナガイサ	243,000
5	中国人を対象とした日本語教室を通じての支援と国際交流	中国文化交流会	200,000
6	外国人に対する日本語支援	特定非営利活動法人 浜松日本語・日本文化研究会	300,000
7	日中国際交流・国際理解 京都研修会	特定非営利活動法人 浜松日中文化交流会	100,000
8	第 21 回国際親善中学野球交歓試合台湾大会を通じての国際交流	浜松市中学野球国際親善育成会	150,000
9	ハロウィンを通じた外国人との交流と異文化体験	三ヶ日国際交流協会	234,000
10	第 2 回 NPO ブラジルふれあい会 & PROIET 学生演劇祭	特定非営利活動法人 ブラジルふれあい会	233,000
11	在住外国人との料理交流フェア	細江町国際交流協会	150,000
12	アンサンブルコーシュカと地域の学生との音楽的、語学的交流を図るコンサート	ムジカ アルタモーダ	300,000
13	中国春節文化の集い	特定非営利活動法人 浜松日中文化交流会	180,000
14	子どもたちで構成されるオーケストラの育成	ブラジルのカメラータ	300,000
15	Girasol festival	Girasol festival	300,000

16	外国人学校の児童生徒を対象とした「福祉」体験プロジェクト	浜松外国人医療援助会	200,000
17	浜松市及び近隣在住の外国人への日本語教育	特定非営利活動法人 日本語教育ボランティア協会	300,000
18	外国人の子どもの教育支援活動	特定非営利活動法人 ARACE(アラッセ)	300,000
19	日本語学習支援事業	特定非営利活動法人 浜松日本語・日本文化研究会	300,000
20	教育支援活動・国際交流活動	静岡県ベトナム人協会	150,000
合計			4,840,000

②地域日本語推進事業（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業）

浜北地区での日本語教育支援を行った。

期間 平成23年4月1日～平成24年3月31日

毎週水・土曜日 19:30～21:00 全83回

受講者 延べ211人

③天竜地域事業（2,470人）

■日本語教室（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業）

期間 平成23年4月9日～平成24年3月24日

毎週土曜日 10:00～11:30 全39回

受講者 延べ151人

■英会話教室（自主事業）

各コース22回 受講者 延べ102人	初級 (火)19:30～21:00	中級 (木)19:30～21:00	上級 (木)19:30～21:00
前期 4月12日～9月27日	17人	17人	17人
後期 10月4日～3月29日	17人	17人	17人

■国際交流の集い（自主事業）

日時 6月5日（日）10:00～12:00

会場 二俣公民館

内容 日本語教室の受講生 6人による一人3分程度の日本語スピーチ
琴愛好グループによる日本の名曲等の演奏
交流会

参加者 40 人

■天竜ふたまたの偉人と歴史散策（自主事業）

日 時 11月20日（日）10：00～14：00

場 所 天竜二俣町

内 容 天竜区二俣町を散策しながら、天竜が生んだ偉人の功績にふれ、天竜の歴史を知ってもらおうウォーキング

参加者 35 人

■天竜産業観光まつり物産展（自主事業）

日 時 11月3日（木）9：00～15：00

内 容 天竜産業観光まつり物産展において、主にアジア各国の雑貨小物を販売した。

④セミナールームの活用（11,189人）（市委託；浜松市多文化共生センター事業）

セミナールームAをオープンルームとして一般に公開、また講座・セミナー等に利用した。

年間利用者数 11,189人

6. 情報提供事業 **参加者数：延べ9,270人**

①機関紙（HICE NEWS）の発行（自主事業）

発行部数：日本語版 2200部 ポルトガル語版 2200部 英語 600部

発行回数：毎月1日発行 年11回

②CIR NEWSの配信（自主事業）

国際交流員（CIR）による英語・日本語併記の文化紹介メールマガジンを毎月配信

配信先数 414人

③ホームページの運営（自主事業）

ホームページアクセス合計数 138,275件

HICE ホームページ（日本語、ポルトガル語、英語）

浜松市多文化共生センターホームページ（日本語、ポルトガル語、英語、中国語）

浜松市外国人学習支援センターホームページ（日本語、ポルトガル語、英語、中国語）

④情報カウンターの設置（市委託；浜松市多文化共生センター事業）（9,270人）

情報カウンターにボランティアを配置し、外国人市民・日本人市民に対し、必要な情報を提供。

年間延べ提供数 外国人 4,656人、日本人 3,645人 合計 8,301人

年間ボランティア配置 延べ969人

公益事業2 (在住外国人支援)

1. 日本語教育事業

参加者数：延べ8,181人

①外国人市民を対象とした日本語教室（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業）
(4,404人)

在住外国人に対して日本語支援を行う教室。ひらがな、カタカナ、初級レベルの漢字を学ぶ識字クラスと、日常生活を行う上で必要な日本語コミュニケーション能力を学ぶ会話クラスを開催した。

協働団体 With U-Net

第1期		(受講者 延べ1,563人)		
区分	講座名	回数	日付	受講者
かな・漢字クラス	ひらがな・カタカナ	20	5月9日～7月13日	214
	生活漢字1	20	5月10日～7月14日	182
	生活漢字2	10	5月13日～7月15日	48
会話クラス	レベル0	24	4月25日～7月25日	375
	レベル1	24	5月10日～7月28日	283
	レベル2	36	4月26日～7月26日	272
	レベル3	36	4月25日～7月27日	189

第2期		(受講者 延べ1,612人)		
区分	講座名	回数	日付	受講者
かな・漢字クラス	Aコース (ひらがな・カタカナ)	10	8月22日～11月7日	80
	Bコース(漢字の読み)	10	8月30日～11月1日	70
	Cコース(U-ToC検定と漢字の読み書き)	20	8月31日～11月9日	195
	Dコース(漢字を含む文章読解)	10	9月2日～11月11日	93
会話クラス	レベル0	24	8月22日～11月16日	166
	レベル1	36	8月22日～11月17日	297
	レベル2	36	8月23日～11月15日	479
	レベル3	24	8月23日～11月15日	232

第3期		(受講者 延べ1,229人)		
区分	講座名	回数	日付	受講者

かな・漢字クラス	Aコース（ひらがな・カタカナ）	10	1月16日～3月19日	64
	Bコース（漢字の読み）	10	1月10日～3月13日	40
	Cコース（U-ToC検定と漢字の読み書き）	20	1月11日～3月15日	127
	Dコース（漢字を含む文章読解）	10	1月13日～3月16日	52
会話クラス	レベル0	24	12月14日～3月21日	163
	レベル1	36	12月15日～3月22日	202
	レベル2	36	12月14日～3月23日	425
	レベル3	24	12月13日～3月23日	156

②外国人市民に日本語を教えるボランティア養成講座

（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業）（3,460人）

■日本語ボランティア養成講座

地域における日本語学習支援で必要とされる知識や技術を学ぶボランティア養成講座を開催。

協働団体 ネクスト

全20回／各期 年2期 受講者 延べ2,062人

		受講者
1期	4月25日～9月30日	延べ 932人
2期	10月31日～3月30日	延べ 1,130人

プログラム例

1	ガイダンス
2	「日本語」と「国語」
3	異文化理解
4	地域のための日本語
5	日本語教室のあり方
6	授業体験
7	使える日本語
8	日本語教室の中身
9	修了生の声
10	アシスタントガイダンス
11	教案作り①場面
12	教案作り②教材
13	教案作り③話し方

14	教案を完成させよう
15	プレ模擬授業
16	模擬授業①
17	模擬授業②
18	模擬授業ふりかえり
19	私たちの進む道①
20	私たちの進む道②

■日本語ボランティアS講座

日本語ボランティア養成講座修了生を対象に本講座を実施し、活動者のスキルアップを図った。
全32回 受講者 延べ635人

回	日時			内容
1	4月11日	月	13:00~14:30	ガイダンス
2	4月21日	木	10:30~12:00	識字指導
3	4月25日	月	13:00~14:30	「できる日本語」から地域版日本語 教室づくりの秘訣を学ぶ
4	5月19日	木	10:30~12:00	識字実践
5	5月30日	月	13:00~14:30	日本語文法①
6	6月9日	木	10:30~12:00	日本語文法②
7	6月20日	月	13:00~14:30	文法実践①
8	6月30日	木	10:30~12:00	文法実践②
9	7月11日	月	13:00~14:30	誤用分析（文法）
10	7月21日	木	10:30~12:00	音声
11	8月1日	月	13:00~14:30	音声教育
12	8月11日	木	10:30~12:00	教科書分析
13	8月22日	月	13:00~14:30	ティーチャーズトーク
14	9月1日	木	10:30~12:00	教案作り
15	9月12日	月	13:00~14:30	（絵）教材～作り方～
16	9月22日	木	10:30~12:00	（絵）教材～使い方～
17	10月3日	月	14:00~15:30	日ボラS講座ふりかえり
18	10月12日	水	10:30~12:00	日本語文法①
19	10月24日	月	14:00~15:30	交流型教室の教案作り①
20	11月9日	水	10:30~12:00	日本語文法②
21	11月14日	月	14:00~15:30	交流型教室の教案作り②

22	12月1日	木	10:30~12:00	日本語文法③
23	12月5日	月	13:00~14:30	HICE・多文化共生センターの 取り組み
24	12月22日	木	10:30~12:00	日本語文法④
25	1月12日	木	10:30~12:00	日本語文法⑤
26	1月16日	月	13:00~14:30	在留資格を知ろう
27	2月2日	木	10:30~12:00	日本語文法⑥
28	2月6日	月	13:00~14:30	法律の現場から
29	2月23日	木	10:30~12:00	日本語文法⑦
30	3月5日	月	13:00~14:30	HICE 会話クラス 5年間の歩み
31	3月15日	木	10:30~12:00	日本語文法⑧
32	3月26日	月	12:30~14:00	教師の質問力

■外国人子ども学習支援ボランティア養成講座

公立小学校に通う外国人児童に放課後学習支援を行うボランティアを養成する講座を開催した。

協 力 浜松市教育委員会、浜松市立佐鳴台小学校、浜松市立南の星小学校

全12回／各期 年2期 受講者 延べ763人

		受講者
1期	5月18日～8月4日	延べ276人
2期	9月28日～12月22日	延べ487人

プログラム

1	浜松市における外国人児童の実態
2	親の気持ち、子どもの気持ち
3	学校見学
4	ボランティアの心構え
5	JSLカリキュラムとは
6	放課後学習支援活動とは
7	ボランティア体験
8	見学・体験振り返り
9	子どもたちのその後①外国人青少年の現状
10	子どもたちのその後②私が子どもだったころ
11	学校とボランティアの連携と協力
12	ボランティアへの期待

③企業コーディネート（自主事業）

外国人を雇用する企業において企業内日本語教室をコーディネートした。

企業名 平野ビニール工業株式会社、三菱化学物流株式会社、テックメイト株式会社
株式会社坂下製作所、ユニストラ株式会社

④PDCA 型日本語教室づくりのための日本語ボランティア研修(文化庁委託事業)(292人)

浜松市外国人学習支援センターでの日本語教育事業は、日本語ボランティアの養成講座(養成期)と日本語教室(実践期)がリンクするかたちで運営されている。本方式をより効果的に運用するために、自らの教室活動を振り返り、改善し、次へ繋げていくためのPDCA型の日本語教室を企画運営できる人材の育成を図った。

■基礎コース 9:30~12:30 受講者 延べ178人

開講日時	授業のテーマ	授業概要	講師
5月14日	地域日本語教育での日本語文法①	文法積み上げ型でない日本語教室での文法の取り扱い方について考える	原沢伊都夫氏 (静岡大学)
5月21日	地域日本語教育での日本語文法②	文法の取り扱い方、提示の方法について具体的に考える	原沢伊都夫氏 (静岡大学)
6月25日	ニーズ分析	ニーズ把握と分析がなぜ必要なのかを理解し、その手法について考える	金田智子氏 (学習院大学)
7月9日	社会を動かす協働型日本語教室の作り方	多文化共生社会の構築には、人・機関が関わることが大切であることを理解し、そのための教室づくりについて考える	神吉宇一氏 (海外技術者研修協会)
7月30日	タスク先行型の教授法	外国人も生活者であることを踏まえ、会話を引き出す教え方について学ぶ	嶋田和子氏 (イーストウエスト日本語学校)
8月20日	教師研修のススメ	いい授業とは何か、教師研鑽の重要性和成長し続ける教室について考える	横溝紳一郎氏 (佐賀大学)
8月27日	音声	母語と日本語の音の違いについて学ぶ	鹿島央氏 (名古屋大学)
10月22日	コミュニケーションを考える	コミュニケーション能力とは何かを考える	清ルミ氏 (常葉学園大学)

11月19日	評価システム確立のために	外国人の日本語能力の評価がどのようなものなのか、評価とは何かについて学ぶ	川端一博氏 (日本国際教育支援協会)
12月10日	社会的自立のための日本語教育とは	多文化共生社会の実現に向け、日本語教育の役割は? 「自立」「人生」「生きる」ということに視点をおいて考える	春原憲一郎氏 (海外技術者研修協会)

■実践コース 13:30~16:30 受講者 延べ114人

開講日時	授業のテーマ	授業概要	講師
5月14日	文法積み上げ型でない教室での文法の取扱方について	ワークショップを通して、具体的に教室活動を考える	原沢伊都夫氏 (静岡大学)
5月21日	ワークショップを通して、授業実践の後を振り返る	文法の取り扱い方、提示の方法について自らの実践を通し、自分の課題を見出す	原沢伊都夫氏 (静岡大学)
6月25日	ニーズに合った教室とは何か	浜松調査を事例に、ニーズ把握・分析をした結果、自らの教室がニーズに合っているかどうか見直す	金田智子氏 (学習院大学)
7月9日	協働型日本語教室の実践を考える	日本語教室に携わることの重要性をどう伝えるか、どのような活動に関わってもらおうのかを考える	神吉宇一氏 (海外技術者研修協会)
7月30日	ワークショップを通して、授業案を考える	自らの教案が「会話を引き出し」「何ができるようになるのか」を捉えたものかどうかを見直す	嶋田和子氏 (イーストウエスト日本語学校)
8月20日	自分の弱点を知り、成長し続ける教師と教室を目指す	成長し続ける教師のための研鑽について意識啓発を行う	横溝紳一郎氏 (佐賀大学)
8月27日	聴覚を高め、発音をきれいにする教室活動について	実際に行った授業を事例に、音声の視点から指導方法について助言・指導をいただく	鹿島央氏 (名古屋大学)
10月22日	コミュニケーションを豊かにする日本語教室とは何か	コミュニケーション能力を高める教室活動について、具体的な実践例をもとに学ぶ	清ルミ氏 (常葉学園大学)

11月19日	いくつかの教室カリキュラムを事例に評価基準について考える	外国人の日本語能力をどう評価するのか、どこに着目するのか、どんな能力を持つことが地域社会の一員としてみなされるのかについて考える	川端一博氏 (日本国際教育支援協会)
12月10日	外国人の雇用・就労・人材育成に関わる当事者から、社会的自立を果たすまでのプロセスを学び、求められる教室と日本語教師像について考える	外国人を雇用する企業・施設の担当者から外国人を採用した決め手となったものについて話を聞き、具体的にどのような能力があれば評価・採用されるのかを考える。また、当事者である彼らから日本語教育支援活動に従事する人たちに求められることを学び、今後の活動に活かしていく	春原憲一郎氏 (海外技術者研修協会) 平野利直氏 (平野ビニール工業株)、佐々木潤氏 (天竜厚生会)、中岡ヘナト氏 (丸佐大庭鉄工所)

⑤地域日本語教育コーディネーター研修（自主事業）（25人）

多文化共生社会の実現に向けた日本語教室の企画・運営をはじめ、企業・自治会・学校・行政など、様々なファクターが連携して協働しあう地域ぐるみの活気あふれる教室をめざして必要となるコーディネート能力・ファシリテート能力について学んだ。

日 程 3月23日（金）13：00～17：00

24日（土）9：30～17：00

会 場 西部パレット

内 容 「政府による定住外国人施策について」

楠目 聖（内閣府定住外国人施策推進室参事官補佐）

「文化庁の日本語教育施策とコーディネーターの必要性」

仙田武司（文化庁文化語課日本語教育専門職）

「多文化共生と地域の未来 コーディネーターの役割と期待」

田村太郎（NPO 法人多文化共生センター大阪代表）

ワークショップ「地域を巻き込み事業づくり」など

受講者 25人

2. 相談事業 相談件数等：延べ10,428件

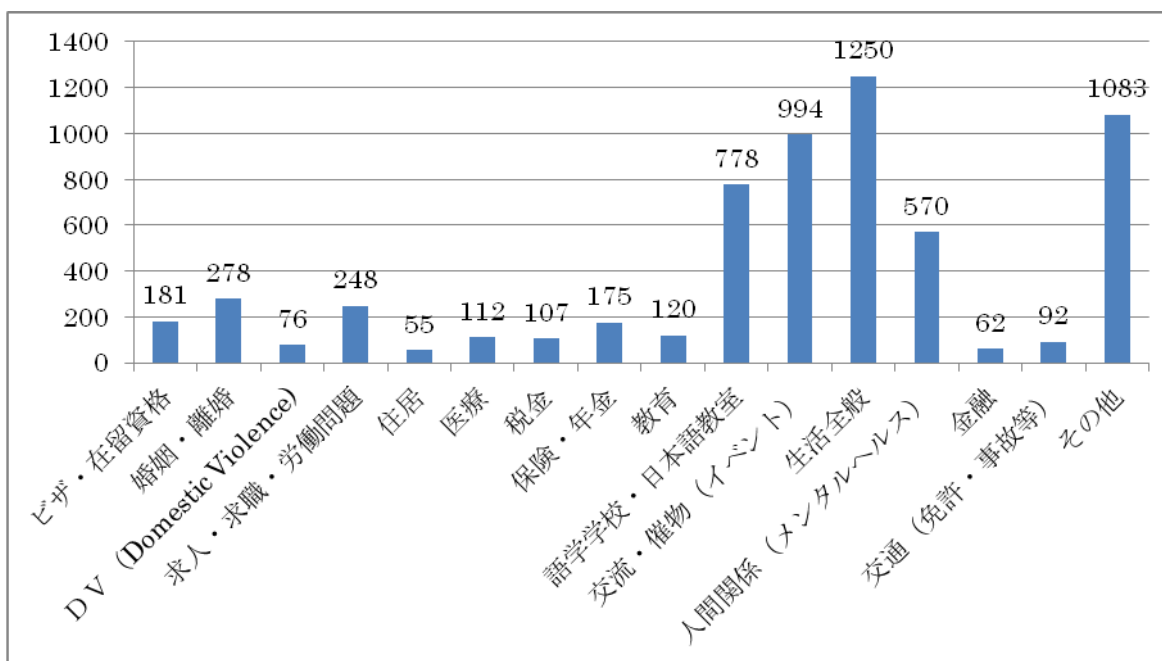
①外国人市民のための生活相談（市委託；浜松市多文化共生センター事業）（単位：件）

言語	曜日	時間	件数
ポルトガル語	月曜日～日曜日	9：00～17：30	3,279

中国語	火曜日	13：00～17：00	212
スペイン語	水曜日	9：00～17：00	299
タガログ語	木曜日	13：00～17：00	484
英語	火曜日～金曜日	13：30～16：30	160
日本語	月曜～日曜日	9：00～17：30	1,747
合計			6,181件

【相談内容・傾向】

放射能の影響について、帰国する際の健康保険の払戻手続きについて、日伯年金協定について、日本語学習、離婚、家族関係、在留制度の変更について、求職、子どもの教育など。



②ワンストップ相談コーナーの運営 (1,965件)

ハローワーク、労働基準監督署、入管、東海大学・ブラジルマットグロッソ大学教員養成プロジェクトと連携して、それぞれ専門相談の窓口を配置した。

相談件数：延べ1,965件

ハローワーク	1,594
労働基準監督署	18
入管	189
ブラジル教育相談	164

③中国残留邦人支援事業（市委託事業）（359件）

中国残留邦人とその配偶者で、世帯の収入が一定の基準に満たない者に対し国費で支援給付をする際の業務補助、相談、通訳等の支援のために、相談員及び通訳を配置または派遣した。

■市内区役所（中・南・東）の福祉事務所に中国語による支援相談員1人を派遣した

日時 週4日 13:00～17:00

内容 日常生活、子弟の教育問題、日本語学習、就労相談など

件数 延べ296件

対象 13世帯21人

■医療機関等への通訳について派遣を行った。

件数 延べ63件

対象 15世帯47人

④法律相談（自主事業）

毎月第4木曜日に弁護士による法律相談を行った（12月を除く 全11回）

相談者数 延べ82人

相談内容 生活保護受給中のトラブル、お金の貸し借り、離婚・再婚の手続きと親権・慰謝料、養育費が支払ってもらえない、車・家のローンが支払えない、DV、交通事故の後遺症と保険の適用・損害賠償、労災、後遺症、オーバーステイで拘留、職場内のいじめ・差別、有給休暇をとらせてもらえない、起業の際の注意点、子どもの虐待を疑われ児童相談所に連れていかれた、国民健康保険の支払い、近所とのトラブルなど。

国籍	ブラジル	ペルー	フィリピン	その他
人数	延べ45人	延べ12人	延べ14人	延べ11人（インドネシア、カナダ、中国、ボリビア、韓国、日本）

⑤税務相談（自主事業）

東海税理士協会浜松東支部・浜松西支部と連携し、確定申告の手続きなどの税務相談を行った。

開催日 2月1日

相談者数 延べ20人

⑥メンタルヘルス相談（市委託事業）（967件）

ブラジル人心理士2人を配置し、ポルトガル語でのメンタルヘルス相談を行った。

■相談

日時 平成23年4月～平成24年3月 週5日 9:00～17:00

相談件数 延べ923件

相談内容 うつ、統合失調症、ストレス、不安、心理的発達障害等に関連する相談。

家族の問題、教育上の問題、医療機関への受診等についての相談。

■通訳

精神科や発達相談関連の受診・相談に対し、専門家の通訳を派遣

通訳件数 延べ44件

⑦ソーシャルワーク研修（市委託；浜松市多文化共生センター事業）（399人）

■ソーシャルワーク習得講座（207人）

内容 通訳や相談員が、多種多様な通訳場面や相談に対応するために、専門的知識を習得し、外国人市民の生活支援にあたるためのノウハウや心構えを学ぶ研修を行った。

対象 各機関で外国人の通訳や相談にあたるバイリンガル者

ブラジル、ペルー、アルゼンチン、メキシコ、中国、フィリピン、日本

日時	テーマ	講師	受講者
5月21日（土） 14:00～16:00	日本の生活マナーとルール	松田佳之 浜松中央警察署生活安全係長 ジョンストン智子 浜松市警察部部補	34人
7月9日（土） 14:00～16:00	医療現場視点からの医療通訳とは	山口貴司 山口ハート国際クリニック院長 山口祐子 ソーシャルセクター担当	37人
10月1日（土） 14:00～16:00	通訳技法の基礎	内藤稔 東京外国語大学世界言語社会教育センター特任講師	49人
12月10日（土） 14:00～16:00	法律相談の事例	外山弘幸 弁護士 浜松法律事務所	30人
3月17日（土） 14:00～16:00	日本の移民政策－制度と実態	鈴木江理子 国士舘大学文学部准教授	57人

■ケース検討会（192人）

内容 通訳や相談業務に携わる人材のスキルアップを目指し、日頃から通訳や相談員として活躍している参加者自身が直面している現場の状況を取り上げ、より適切な対応について検討していくことを目的に、その方法について学んだ。

対象 通訳や相談の実践の場を持つバイリンガル者

ブラジル、ペルー、アルゼンチン、メキシコ、中国、フィリピン、日本

日時	テーマ	講師	参加者
4月23日（土）	防災について	井口正孝	13人

14:00～16:00		静岡県防災士	
6月18日(土) 14:00～16:00	DVについて	亀井セルジオ 磐田市役所社会福祉課	19人
9月10日(土) 14:00～16:00	和ポの翻訳・通訳 について	鈴木益子 ポルトガル語講師、通訳案内士	21人
11月12日(土) 14:00～16:00	医療コミュニケーション について	濱井妙子 静岡県立大学看護学部准教授	21人
2月25日(土) 14:00～16:00	日伯年金協定につ いて 特別編	ロジェリオ・ナガミネ・コウタンジ(ブ ラジル厚生労働省) ベネディト・アダルベルト・ブルンカ (INS S)	118人

⑧コミュニティ・エンパワメント（市委託；浜松市多文化共生センター事業）（323人）

■ブラジル人コミュニティエンパワメント（220人）

日時	テーマ	講師	参加者
4月17日(日) 14:00～16:00	ファイナンシャルプ ラン 第1回目	蓑原マルセーロ ブラジル銀行浜松支店	31人
5月15日(日) 14:00～16:00	ファイナンシャルプ ラン 第2回目	蓑原マルセーロ ブラジル銀行浜松支店	39人
5月22日(日) 14:00～16:00	CRBE はままつ会議 第1回目	在外ブラジル人代表者	47人
7月29日(金) 14:00～15:30	乳幼児期 ～意義 & 配慮～	大島チット、吉留富子 ブラジル人心理学者	15人
7月31日(日) 14:00～17:00	CRBE はままつ会議 第2回目	在外ブラジル人代表者	32人
8月20日(土) 10:00～12:00	在浜松ブラジル総領 事館のサービスの内 容について	在浜松ブラジル総領事館	27人
10月23日(日) 16:00～18:00	子どもの発達 ～意義と配慮～	大島チット、吉留富子 ブラジル人心理学者	15人
2月5日(日) 14:00～16:00	青少年の発達 ～意義と配慮～	大島チット、吉留富子 ブラジル人心理学者	14人

■フィリピン人コミュニティエンパワメント（29人）

日時	テーマ	講師	参加者
8月20日(土) 13:30～15:30	フィリピン人のため の相談会	高貝亮弁護士	29人

■ペルー人コミュニティエンパワメント (74人)

日時	テーマ	講師	参加者
12月4日(日) 14:00~16:00	ペルーの魅力	アグスチン・パラシオス 在東京ペルー総領事館代理領 事	74人

⑨自主グループ支援(市委託; 浜松市多文化共生センター事業)(132人)

■「NPT(地震に負けないブラジル人組織)」

発足式日時 4月3日(日) 15:00~16:00

場 所 浜松市多文化共生センター

内 容 地震・防災について

講 師 浜松市危機管理課

参加者 43人

■若者自主グループ ARTEIROS(やんちゃぼうず)

「ソーシャルネットワーク」

日 時 8月5日(土) 19:00~20:30

場 所 浜松市多文化共生センター

内 容 ネット上での情報発信・取得の特徴と危険性について

講 師 マサミ・イーゴ(デジタル・ソーシャルメディア・アナリスト)

参加者 24人

「ネットスラングセミナー」

日 時 平成23年11月13日(日) 17:00~18:30

場 所 浜松市多文化共生センター

内 容 ツイッターやフェイスブックで多く使用されているスラング、表現について

講 師 マサミ・イーゴ(デジタル・ソーシャルメディア・アナリスト)

参加者 19人

■ブラジル人との交流を進める自主グループ「クルーベマーパ」

「食べて! 踊って! SAMBA SAMBA!」

日 時 平成23年8月28日(日) 14:00~16:00

場 所 浜松市多文化共生センター

内 容 ブラジルと日本のお菓子の紹介やサンバステップのミニレッスン

講 師 山城エリアーネ(グルーポ・ブラジリダージ)

参加者 34人

■多文化体験を持つ子ども・若者の自主グループ「TCKはままつ」

「パネルディスカッション～海外での生活体験を活かす若者たち～」

日時 平成24年1月22日（日） 10:00～12:00

場所 浜松市多文化共生センター

内容 日本人の両親からカナダで生まれ育った若者、イタリア・ミラノの日本人学校に通い、帰国子女として日本の中・高を過ごした若者、日本人妻との間にダブルの息子を持つカナダ人男性などがパネリストとして、多様な文化的背景を持つ人の経験について語り、多様な体験を持つ人材を受け入れる社会づくりについて議論を行った。

参加者 12人

3. 子ども支援事業（自主事業）参加者数：延べ153人

①かえるプロジェクト（85人）

内容 ブラジルへ帰国した子どもたちの支援を行っているカエルプロジェクトの取り組みから、帰国前にしておかなければならないことなどの心構えについて話を聞いた。

日時	10月30日（日）14:00～16:00	10月31日（月）14:30～16:00
会場	浜松志登呂イオンモール	南の星小学校
対象	ブラジル人保護者、家族	学校教員関係者
参加者数	50人	35人

講師 中川郷子博士（カエルプロジェクト）、沢口千代美

主催 グローバル人材サポート浜松

共催 三井物産㈱

後援 浜松市教育委員会

②就学前外国籍児童学校体験教室 ぴよぴよクラス（68人）

外国人新入児童の多い浜松市内の小学校5校において、新入学外国人児童のための学校体験教室を開催。子どもたちや保護者の不安軽減と異文化理解につながった。

期間

浜松市立佐鳴台小学校 3/21（水）～3/23（金）3日間

浜松市立葵が丘小学校・大瀬小学校・浜名小学校・南の星小学校

3/21（水）～3/27（火）〈土日は除く〉5日間

新1年生参加者数(30人)

浜松市立佐鳴台小学校 5人（ブラジル2人、ペルー1人、フィリピン1人）

浜松市立葵が丘小学校 6人（ブラジル6人）
 浜松市立大瀬小学校 4人（ベトナム1人、インドネシア1人、ブラジル1人、日本1人）
 浜松市立浜名小学校 5人（フィリピン4人、ペルー1人）
 浜松市立南の星小学校 10人（ブラジル8人、ペルー1人、インドネシア1人）
 大学生支援員 33人（静岡文化芸術大学20人、浜松学院大学8人、静岡大学5人）
 通訳 5人（タガログ語通訳3人、ポルトガル語通訳2人）

4. 地域共生推進事業（市委託；浜松市多文化共生センター事業） 参加者数：延べ42人

①各地域への個別支援 件数 10件

地域名	内容
佐鳴台団地	自治会総会へポルトガル語・スペイン語の通訳を紹介。
子安団地	日本語教室の案内。
白脇地区	幼稚園でブラジル人の子どもが増加しているため、ポルトガル語の通訳を紹介。
高台公民館	ポルトガル語勉強サークルへポルトガル語講師の紹介。
佐鳴台三丁目	新規に自治会に加入するアパートに住んでいるブラジル人とペルー人への案内等について。
原島町	ブラジル人に店舗を貸しているが、中古車等があふれていて、環境が悪くなっている。
幸町	フィリピン人妻のいる家族の騒音問題。コミュニケーションが取れずに困っている。
湖東地区	湖東幼稚園から、ベトナム人の子どもの発達障害についての相談。
遠州浜地区	ブラジル人教会での騒音トラブル。
地区不詳	外国人に自治会に加入してもらうための相談。

②モデル地区・遠州浜への支援

- ・夏祭り支援（8月6日）ブラジルサンバグループの出演支援
- ・運動会支援（10月9日）地元のブラジル人グループが「ごみ仕訳人競走」を企画・運営するにあたり、自治会とのコーディネートを行った。
- ・防災訓練（12月4日）防災訓練へ外国人住民への呼びかけ支援

③地域共生自治会会議の開催

浜松市内の外国人住民の多い自治会が集まり、外国人住民とともに作る地域づくりについて、先進事例を聞き、各自治会の情報交換を行った。

公営住宅が福祉住宅化していく政策の中で、入居者として高齢者や母子家庭、障害者などの

割合が増えるのは今後避けられない。その流れの中で、自治会活動が危機的局面に直面しつつある。地域のコミュニティ力を高めるためには、自治会による努力だけでは限界があり、行政が引き続きある程度関与をしていくことが必要である。外国人住民との共生に対しても行政の継続支援が不可欠である、ということが確認された。

日 時 2月12日(日) 13:30～15:30

会 場 多文化共生センター

参加者 22自治会 27人 関係者5人 合計32人

内 容 ①講義「地域共生をめざした取り組み～各地の公営住宅の事例から」

講師：稲葉佳子（法政大学工学部兼任講師）

②各自治会より報告

遠州浜第三、遠州浜第二、子安団地

③意見交換会